2019年度 授業シラバスの詳細内容

○基本情報			
科目名(英)	大分学・大分楽 (Studies on Oita)		
ナンバリングコード	A10401	大分類 / 難易度 科目分野	教養基礎科目 / 基礎レベル 特色科目
単位数	2	配当学年 / 開講期	1 / 前期
必修・選択区分	必修		
授業コード	A028101	クラス名	
担当教員名	池畑　義人、安田　幸夫、杉浦　嘉雄		
履修上の注意、履修条件	この科目は全学科対象の必修科目です。 この講義は大講義室で一斉に授業を行います。私語、携帯電話でのゲームやSNSの投稿、緊急時以外の途中退室など、他の受講生の迷惑となる行為は控えてください。迷惑行為を行っている受講生は教員から退出の指示をされることがあります。その場合には速やかに指示に従ってください。		
教科書	使用しません。		
参考文献及び指定図書	にっぽん再発見①大分県　大分県監修(求龍堂) 大分学・大分楽Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ(明石書店) 「大分学検定」完全対応まるごとわかる大分県　歴史・人物から文化・観光まで(明石書店)		
関連科目	森里海連環学と地球的課題、人間力概論、社会参画入門、産学一致の勧め		

○成績評価の指標		○成績評価基準(合計100点)		
到達目標の観点	到達目標	テスト (期末試験・中間確認等)	提出物 (レポート・作品等)	無形成果 (発表・その他)
【関心・意欲・態度】	①大分県の特徴やその可能性に興味を持つ。		25点	
【知識・理解】	②大分県の多様な地域資源に関する基礎知識を身につける。 ③大分県の地域資源を活用した代表的な事業を理解する。	20点	5点	
【技能・表現・コミュニケーション】	④大分県の多様な地域資源の情報収集に関する基本的な技術を身につける。 ⑤大分県の代表的な事業の情報収集や参画方法の基本を習得する。		25点	
【思考・判断・創造】	⑥大分県の地域資源関する知識を使って、それを活用した事業の可能性を考えることができる。	10点	15点	

○到達目標に対する到達度の目安、および、成績評価の補足

○毎回の講義の課題による評価
　講義の最後に、毎回、レポート課題(合計3点×12回)を出します。各レポート課題の評価基準は、以下のとおりです。
〔3点〕 レポート課題の題意に対し充分な考察がなされ、要求された分量を満たしている。
〔2点〕 レポート課題の題意を理解しているが、要求された分量に届いていない。
〔1点〕 要求された分量に全く届いていない。

○最終回の講義に出題されるレポートの評価
16回目の講義で全ての講義を総括した上で、レポート課題を出題します。このレポートの評価基準は以下のとおりです。
〔40点〕 レポート課題の題意を理解し、十分な考察がなされている。

○授業の目的・概要等		
授業の目的	少子高齢化が進む日本では、地域の衰退が大きな問題となりつつあります。その一方で、地域には後世に伝えるべき自然、食文化、産業などわたしたちも気付いていない多くの地域資源があります。大分県も衰退の危機にある地域を数多く抱える一方で、温泉、食文化など多くの地域資源を有しています。 この講義では自然、歴史、文化、まちづくりなど、多様な切り口で大分県の誇るべき地域資源を学びます。少子高齢化が進む我が国にとって、大分の事例は様々な示唆を与えてくれるでしょう。 将来は県外や海外に飛び立つわたしにとって大分のことを学んでも役立たないという人もいるかもしれません。しかし、あなたが育った地域もあなたが将来働く地域も、大分と同様の問題を抱え、大分と同様な地域資源をいっぱい持っています。 この科目は大分県の事例を通して、日本の地方における課題と魅力について理解することが目的	
授業の概要	最初に大分全体の魅力と抱えている課題について説明し、大分県内出身の人も知らない大分のことを学びます。 大分県は小藩分立という江戸時代までの小さな藩を統合した成り立ちから、地域ごとの独立性が強い地域です。そこで大分県を北部、中部、西部、南部、豊肥の5つの地区に分けて、それぞれの地区の魅力を講義します。 中間演習では大分県の地名や各地域の大まかな特徴についての知識を確認します。 後半では学内外の自然、歴史、地域計画、まちづくり、スポーツなどの専門家の見地から大分県の魅力について講義します。	
授業の運営方法	(1)授業の形式	「講義形式」
	(2)複数担当の場合の方式	「共同担当方式」
	(3)アクティブ・ラーニング	
地域志向科目	カテゴリー Ⅲ:地域における課題解決に必要な知識を修得する科目	
実務経験のある教員による授業科目	中西章敦(県庁において防災、地域計画を担当)大分県における防災計画について講義する 小牧 渉(広告代理店においてスポーツプロモーションを担当)大分県におけるスポーツについて講義する 橋本堅次郎(コンサルタントにおいてまちづくりを担当)大分県日田市のまちづくりについて講義する	

○備考欄

2019年度 授業シラバスの詳細内容

○授業計画　科 目 名 ： 大分学・大分楽（Studies on Oita ）　授業コード：A028101
担当教員： 池畑　義人、安田　幸夫、杉浦　嘉雄

学修内容

1. スタートアップ
本学の教育理念、なかでも本科目に強く関連する社会・地域貢献について説明し、本学の教養基礎教育の意義、およびカリキュラム体系における『大分学・大分楽』の位置づけや意義についての解説する。

予習： スタートアップ資料の熟読　（約2.0h）
復習： スタートアップの振り返り学習　（約2.0h）

2.『大分学・大分楽』を学ぶにあたって
『大分学・大分楽』を学ぶにあたって、3つの『おおいた・がく』および本学の社会地域貢献について解説し、大分学・大分楽を必修科目としている意味について理解をする。
受講生の地域に対する意識をクリッカーを用いて調査し、その結果から課題意識を共有する。

予習： シラバス、学生便覧の教育理念および教養基礎科目のカリキュラム体系部分の熟読　（約2.0h）
復習： 講義の内容をまとめるレポートの出題　（約2.0h）

3. 大分県北部地区・東部地区の魅力と特徴
大分県北部地区は中津市・宇佐市・豊後高田市、東部地区は姫島村、国東市・杵築市・日出町・別府市で構成されている。これらの地区の市町村ごとに、その場所や気候、歴史、特産物などの特徴を紹介する。

予習： 地名の読み方、市町村の位置、人口などを調べてくる　（約2.0h）
復習： 各市町村の特徴を整理する　（約2.0h）

4. 大分県中部・南部地区の魅力と特徴
大分県中部地区は大分市・由布市・臼杵市・津久見市、南部地区は佐伯市で構成されている。これらの地区の市ごとに、その場所や気候、歴史、特産物などの特徴を紹介する。

予習： 地名の読み方、市町村の位置、人口などを調べてくる　（約2.0h）
復習： 各市町村の特徴を整理する　（約2.0h）

5. 大分県西部・豊肥地区の魅力と特徴
大分県西部地区は日田市・玖珠町・九重町、豊肥地区は豊後大野市・竹田市で構成されている。これらの地区の市町ごとに、その場所や気候、歴史、特産物などの特徴を紹介する。

予習： 地名の読み方、市町村の位置、人口などを調べてくる　（約2.0h）
復習： 各市町村の特徴を整理する　（約2.0h）

6. 中間演習
これまでの講義で大分県の各市町村の概要を解説してきた。以後の講義では最低限、市町村の位置関係や地域の特徴に関する知識を有する必要がある。そこで、この回では知識の定着をはかるためにマーク式の演習を実施する。

予習： 演習問題に備えた1～5回目の講義の復習　（約2.0h）
復習： 解答結果と模範解答の照らし合わせによる復習　（約2.0h）

7. ”おおいた”の自然
大分県は自然に恵まれた豊かな場所として注目を浴びている。その自然は、原生林から里山、里海まで県内全域にわたっている。この講義ではジオパーク、エコパーク、世界農業遺産に関わってきた講師が、大分県の自然環境について解説を行う。

予習： 世界農業遺産、エコパーク、ジオパークに関する情報を収集する　（約2.0h）
復習： 大分県における自然環境の保全についてまとめる　（約2.0h）

8. ”おおいた”の企業
大分県には、老舗（しにせ）企業といわれる古い会社が多いと言われている。また県内の自然環境や文化に応じて、地域によって特徴的な企業が立地している。この講義では、県内の多くの企業に対して創業経営支援をしてきた経験を持つ講師が、大分県の産業を担う企業について解説を行う。

予習： 各地の老舗企業について調査を行う　（約2.0h）
復習： 大分県の企業の現状についてまとめる　（約2.0h）

○授業計画　科 目 名 ： 大分学・大分楽（Studies on Oita ）　授業コード：A028101
担当教員： 池畑　義人、安田　幸夫、杉浦　嘉雄

学修内容

9. ”おおいた”の歴史
大分県は宇佐神宮などの歴史的建造物が残っており、南蛮文化を取り入れた大友宗麟の時代などを通じて独自の文化を育んできた。また、大分県には杵築、日出、府内、臼杵など多くの城下町が残っている。この講義では大分のまちづくりの歴史を研究してきた講師が、大分における”まち”の成り立ちについて解説する。

予習： 大分県内の主な城下町について、その場所と特徴を調べてくる　（約2.0h）
復習： 大分市の町の成り立ちについてまとめる　（約2.0h）

10. “おおいた”のまちづくり
人口減少で苦戦が続く大分県だが、そのなかでも地域の創意と工夫によって地域の魅力を発信して成功している地域も数多くある。この講義では組織活性化コンサルタントとして日田市のまちづくりに関わってきた講師が日田の隠された魅力とまちづくりについて解説する。

予習： 由布市、豊後大野市など県内外で成功しているまちづくりの例を調べてくる　（約2.0h）
復習： 日田市の魅力、そのまちづくりの特徴についてまとめる　（約2.0h）

11. ”おおいた”のスポーツ
現在では、多くの地方都市で国際イベントを含むスポーツイベントが盛んに開催されているが、大分は戦後すぐの時代から今日に至るまで非常にユニークな進展をとげてきている。その大分の特異性を理解し、2019年ラグビーワールドカップ大分開催の意義を学ぶ。

予習： 大分とスポーツで連想することを5つ考えて来る。　（約2.0h）
復習： 配布資料に再度目を通して重要ポイントを自分で再確認する。　（約2.0h）

12. ”おおいた”の地域資源
大分県では、かつて一村一品運動と呼ばれる、それぞれの地域における特産をつくりあげて情報発信をしてきた。現在でも大分県各地には、地元の人が気付いていない多くの地域資源が眠っている。この地域資源の発掘、活用について地域マネジメントを専門とする講師が解説する。

予習： 全国で地域資源発掘の事例を調査する　（約2.0h）
復習： 大分における地域資源発掘の事例をまとめる　（約2.0h）

13. ”おおいた”の報道
全国各地には地域の情報発信を中心とする地方紙と呼ばれる新聞がある。大分県にも地方紙があり、独自の視点から大分県内各地の情報を発信している。この講義では大分県の地方紙の記者から地方紙の役割と記者の視点から見た大分県各地の魅力を解説する。

予習： 全国紙と地方紙の役割の違いを調べる　（約2.0h）
復習： 大分県の地方紙の果たす役割についてまとめる　（約2.0h）

14. 地元大在の過去・現在・未来を知る
大学が立地する大在地区は市内でも有数の人口増加地帯となっている。しかし大学設立当初の50年前は、砂浜が広がるのどかな地区だった。この講義では、大在地区のまちづくりに関わってきた地元企業の経営者が、大在のまちづくりについて経験談から解説を行う。

予習： 大在地区の現状について調査して、大在地区の特徴をまとめてくる　（約2.0h）
復習： 大在地区のまちづくりについてまとめる　（約2.0h）

15. “おおいた”のこれから＜まとめ＞
これまで14回の大分学・大分楽の講義では、これから4年間暮らす大分県の魅力について説明してきた。この講義をふり返りかえることで、大分の魅力について整理を行う。その上で受講生が自ら大分や将来働く地域において地域貢献できる可能性について考察する。また、レポートの評価方法についても解説を行う。

予習： これまでの講義の資料を整理して内容をまとめる　（約2.0h）
復習： 出題された課題について自分なりの考察を述べる　（約2.0h）

16. 期末試験なし（※評価基準として多くのレポートを課すため）

予習：
復習：